

西大和つうしん

2015年 2月号

No.392



金鷺峠にて琵琶湖を背景に
1月18日例会山行：比良・堂満岳

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第392号(2015年2月号)

【目次】

2月度山行計画.....	1
2月度・3月度カレンダー.....	2
山行・行事等参加メモ.....	3
山行報告	
・自主訓練山行 《12月22日》 比良の山 武奈ヶ岳(玉越).....	4
・自主山行 《12月23日》 伊勢の山 矢頭山(阪口).....	5
・自主訓練山行 《12月31日》 大峰の山 百合ヶ岳(玉越).....	6
・初日の出を見る会 《1月1日》 王寺の山 明神山(都築).....	7
・自主訓練山行 《1月3日》 台高の山 高見山(今井).....	8
・例会山行1 《1月4日》 六甲の山 長峰山(島崎).....	9
・自主訓練山行 《1月11-12日》 湖西の山 赤坂山(今井).....	10
・自主山行 《1月11日》 信貴・生駒 生駒山～信貴山(船江).....	12
・例会山行2 《1月18日》 比良の山 堂満岳(藤井).....	13
室内例会だより(12/21)/運営委員会だより(11/30).....	14

2 月 度 例 会 山 行 計 画

～寒さに負けず冬のダイトレコースを歩こう～

◆2月8日(日):例会山行1◆紀泉《岩湧山》[L:多賀 / 緊連:都築]

【集 合】JR王寺駅 6:30 (王寺6:41 発=和泉中央7:41 着)

【コース】登山口～(30)～槇尾山・施福寺～(50)～ボテ峠～(35)～滝畑湖畔～(80)
～鉄塔75～(30)～岩湧山～(70)～南葛城分岐～(20)～根古峰～(20)
～ダイトレ分岐～(70)～紀見峠駅

～樹氷のトンネルをたのしみに!～

◆2月15日(日):例会山行1◆台高《三峰山》[L:今井 / 緊連:都築]

【集 合】近鉄榛原駅南広場 8:45 <霧氷号(9:15発)に乗車>

【コース】青少年旅行村(10:30)～不動滝コース登山口(11:00)～避難小屋(12:10/40)
～三峰山(13:10/20)～八丁平(13:30/40)～避難小屋(14:00)～<壘コース>
休憩小屋(15:00/10)～青少年旅行村(15:30)【歩行時間:約4時間】
帰路:<霧氷号 16:00発>

～関西のmatterホルンで霧氷を!～

◆2月22日(日):例会山行2◆台高《高見山》[L:辻 / 緊連:都築]

【集 合】近鉄榛原駅南広場 9:00 <霧氷号(9:15発)に乗車>

【コース】高見登山口(10:00)～小峠(11:00)～高見山(12:15/13:00)～

高見杉(14:00)～たかすみ温泉(14:45) ※たかすみ温泉で解散

【歩行時間:約3時間40分】

帰路:<霧氷号 15:00発 16:00発>

西大和山の会 カレンダー

2 月		3 月	
1 日	県連登山学校訓練山行(1/31～;テノ泊・鈴鹿・霊仙山)	1 日	県連定期総会(斑鳩公民館 13:00)
2 月		2 月	
3 火	県連理事会(県連事務所 19:30)	3 火	県連理事会(県連事務所 19:30)
4 水		4 水	
5 木		5 木	
6 金		6 金	
7 土	県連主催山筋ゴ-ゴ-体操講習会(郡山市民交流会館 13:00)	7 土	
8 日	◆例会山行・紀泉:岩湧山(多賀)	8 日	◆例会山行・台高:明神平(林)
9 月	県連理事会【臨時】(県連事務所 19:30)	9 月	
10 火		10 火	
11 水		11 水	
12 木		12 木	
13 金		13 金	
14 土		14 土	
15 日	◆例会山行・台高:三峰山(今井)	15 日	◆女性部山行・湖東:三上山(村田)
16 月		16 月	
17 火	県連理事会【臨時】(県連事務所 19:30)	17 火	
18 水	『西大和つうしん』 3月号原稿締切	18 水	『西大和つうしん』 4月号原稿締切
19 木		19 木	
20 金		20 金	
21 土		21 土	└(15:00 事務所)
22 日	◆例会山行・台高:高見山(辻)	22 日	◆定期総会・室内例会・懇親会 └(13:00 事務所) 17:00┘
23 月		23 月	
24 火		24 火	
25 水	◆室内例会(事務所 19:30)	25 水	
26 木	└25(水)県連理事会【臨時】(県連事務所 19:30)	26 木	
27 金		27 金	
28 土	運営委員会(事務所 13:30)	28 土	
		29 日	◆例会山行・信貴生駒:福貴畑～高尾山(勝尾)
		30 月	
		31 火	

山行・行事等参加メモ

入会順		室内例会	例会山行1	例会山行1	例会山行2					
		1/28 室内 例会	2/8 岩湧 山	2/15 三峰 山	2/22 高見 山					
1	(窪田)									
2	都築	○	×緊	×緊	×緊					
3	藤井	○	○	○	×					
4	(石田)									
5	多賀	○	○L	○	○					
6	田中悦	○	○	×	×					
7	島崎	○	○	○	×					
8	田中初	○	×	×	×					
9	村田	○	×	×	×					
10	林	○	○	○	×					
11	辻	○	×	×	○L					
12	勝尾	○	○	○	○					
13	藤本	×	×	○	×					
14	杉村	○	○	×	○					
15	高橋	休 会 中								
16	玉越	○	×	×	×					
17	的場	×	○	○	×					
18	杉川	○	×	○	×					
19	阪口	○	○	×	×					
20	橋本	×	○							
21	今井	○	○	○L	×					
22	亀高	○	○	○	○					
23	松浪	×								
24	亀井	○	○	×	○					
25	船江	○	○	○	×					
26	野路	×								
	合計	18	14	11	6					

※青色は室内例会における情報。朱書はその後の追加情報。

自主訓練山行（アイゼン・ピッケルトレーニング）

比良の山：《武奈ヶ岳》

【日 程】12月22日（月）晴れ

【参加者】L〔講師〕中武（奈良労山）・玉越・今井（3名）

【コースタイム】坊村(9:50)～昼食(12:25/45)～武奈ヶ岳山頂(13:40)～八雲ヶ原(14:30)～金
糞峠(15:40)～イン谷口(17:00)～比良駅(18:25)

朝からよく晴れて寒さも一段と厳しい。坊村では我々の他2人が下車した。平日で人が少ないときは特に「顔を売る」ことが大切だということで、駐在所に直接計画書を出し、他の登山者とも言葉を交わす。坊村登山口からつづら折りの登りを上るにつれて、次第に斜面は凍りはじめる。訓練なのでしばらくはアイゼンを付けずに登る。足を斜面に対してフラットに踏みしめること、ピッケルを使った足掛かりの作り方など教えてもらう。

途中登る方角が変わる地点がある。広くやや窪んだ地形になっていて、ここでアイゼンを装着したが、過去に労山の会員が道迷いをしたと思われる地点だという。確かに下山時はあらゆる方向に行けそうに見える。アイゼンを付け足元が安定すると、ゆっくりとしたペースながらひたすら登り続ける。お天気は良かったが尾根上は西からの風がきつく寒い。しかし一旦東側に回り込むと、日差しがポカポカして暖かい。

武奈ヶ岳山頂からは、堂満岳・釣瓶岳や琵琶湖がよく見渡せた。山頂から八雲ヶ原まではさらに雪が多く、トレースの外側では深く沈んでしまう。八雲ヶ原まではまだ雪と景色を楽しむ余裕があったが、金糞峠から先の岩場には骨が折れた。雪もあるのでアイゼンを付たまま岩場を下るのだが、疲労から足がちゃんと上がっていかなかったり、着地点が悪く足首がグニャリとなったりして何度も転びそうになった。やっとならぬ舗装路に出てからも、水が通る場所には氷が張っていて滑って転びそうになった。イン谷口に降りたところにはもうあたりは真っ暗になっており、長い長い訓練山行はようやく終了した。

（玉越 啓子）

**Piolet d'Or**

（ピオレ・ドール＝金のピッケル）
毎年、世界で最も優れたクライマーに授与されるピオレ・ドール賞のピッケル。モデルは **Grivel Mont Blanc**（グリヴェルのモン・ブラン）

自主山行

伊勢の山：《矢頭山 731m》

【日 程】12月23日(火・祝)曇り後晴れ

【参加者】L 島崎・SL 田中(悦)・田中(初)・藤井・村田・阪口・今井・橋本・亀高・野路(10名)

【コース】上牧 P 場(7:00)＝中宮公園登山口(9:10)～大日拝展望台(10:35)～矢頭山〔昼食〕(10:55/11:30)～矢頭峠(12:20)～中宮公園登山口〔休憩〕(12:40/13:10)

天気を気にしながら出発。中宮公園駐車場には予定より早く着き、トイレを済ませ、矢頭の大杉を見てゆっくり登山口に向かう。草むした階段の登りに、少し息が切れた頃不動滝が現れる。滝壺まで降りると、滝の横の岩に仏様が彫ってあった。こぢんまりとした綺麗な滝だ。ここで一息ついて又登り始める。すると、林道に出て登山口の標識。ここからが本当の登山口のような。少し登ると、木の根の急登が始まり、ピークを何度か越え頂上はまだかなと思っていると、大きなピークが現れ頂上に向かってまっすぐに登山道が続いているのが見え、見なければ良かった、テンション激下がり。息を切らしながら登ると、大日拝展望台に着く。眺望はここより少し下った鞍部の方が良く、ピンと尖った局ヶ岳がはっきり見えた。又岩やロープのはったピークを超えて頂上に着くと、私達より先に登ったパーティが昼食の場所を空けてくれ早い昼食を取る。山頂は眺めもよく、風も無くゆっくりできたので話をすると、愛知県の労山のパーティのようだ。下山は先に行ってもらい、少し置いて私達も出発すると、冷たい風が吹きだし、上着を羽織ろうと思ったが、地藏岳の岩を越え、細尾根、ロープを持っての緊張した激下りの連続に、着る機会を逃し身震いしながら下山する羽目に。急な階段を下りると林道が見えてきた、やっと下りからの開放だ。下には頂上で会った労山の人達がいて、ホームページもしているとのことで、お互いの会の名前を言い合って別れて中宮公園の駐車場に戻る。ここはキャンプ場になっていて、水場もありテーブルもあっていい場所なので、ここで村田さん藤井さんが用意してくれた、ぜんざいを頂く。変化に富んだ登山道と、下山後のお楽しみも出来て、今年の納山にふさわしい山行でした。



少し置いて私達も出発すると、冷たい風が吹きだし、上着を羽織ろうと思ったが、地藏岳の岩を越え、細尾根、ロープを持っての緊張した激下りの連続に、着る機会を逃し身震いしながら下山する羽目に。急な階段を下りると林道が見えてきた、やっと下りからの開放だ。下には頂上で会った労山の人達がいて、ホームページもしているとのことで、お互いの会の名前を言い合って別れて中宮公園の駐車場に戻る。ここはキャンプ場になっていて、水場もありテーブルもあっていい場所なので、ここで村田さん藤井さんが用意してくれた、ぜんざいを頂く。変化に富んだ登山道と、下山後のお楽しみも出来て、今年の納山にふさわしい山行でした。

ちなみに、帰宅後、労山の人たちのホームページが見つかりました。愛知県労山の春日井峠の会の一ノ瀬さんのブログの所に西大和の会のことも載せてくれています。

(阪口 百合子)

自主訓練山行（雪山トレーニング）

大峰の山：《百合ヶ岳（大所山） 1,346m》

【日 程】12月31日（水）

【参加者】L 藤本・杉川・玉越（3名）

【コース】登山口(7:30)～琵琶の滝～分岐(8:30)～女郎岩(10:35)～山頂(11:10)～昼食(11:25/12:15)～展望岩(12:25)～登山口(13:40)

年越し山行として、八ヶ岳の赤岳・硫黄岳に登る計画だったが、天候悪化の予報やその他の諸事情により今回は断念した。その代替山行として百合ヶ岳を目指すことになった。

大型低気圧が来る前の晴天を狙った今回の山行。夕方には天気は崩れ、寒気が一気に押し寄せるとい



う予報。天候が崩れるまでに下山するため、5時30分

に王寺を出発した。山頂付近は少し白く見えるものの、登山口には全く雪はなかった。霧氷は期待できなさそうだ。

まずは琵琶ノ滝を目指す。前回の山行では滝見台まですんなり行けた記憶だったが、踏み跡が不明瞭だったため滝見台下で引き返した。出発してから1時間で分岐まで戻り、つづら折りの急登を登り始める。高度を上げるにつれ徐々に雪は増えたが、アイゼンを付けるほどではなかった。女郎岩やその手前の急斜面では、凍った木の根や岩に足が滑って肝を冷やす場面もあったが、ピッケルのブレードで氷を削って足場を作ったり、ピックを刺して体を持ち上げたりして何とか登りきった。



稜線まで上がってしまうと、まさに白銀の別世界！ブナ林のあいだを動物の足跡だけが点々と続く。見上げると蒼すぎるほどの青空、レースのような繊細な枝ぶりのブナ林があって、足元には霧氷の欠片がガラス片のように散っている。この静かな稜線をゆったりと堪能し、ぽかぽかと日の差す鞍部で昼食を摂った。下山は展望岩・岩清水のルート。「怖かったね」「きれいやったね」「楽しかったね」とおしゃべりしているうちに、暗い植林の下山道であっという間に終え、14時前に駐車場に戻った。薬師の湯まで足を延ばして入浴。大満足の登り納めとなった。

（玉越 啓子）

初日の出を見る会

王寺の山：《明神山》

【日 程】 1月1日（木）

【参加者】 L 都築・SL 島崎・林・亀井（夫妻）（5名）

【コースタイム】 明神の鳥居前(6:30)～明神山頂上(6:58/7:15)～明神の鳥居前(7:40)

今朝、起きた時は車の窓ガラスが凍っていたので寒くなるかもしれないと思いました。天気予報では、雪が降ることになっていたのですが、今年は参加者がいないのではないかと心配しながら鳥居前で待っていると、島崎さんと林さんが来て下さったのでほっとして予定通り 6 時 30 分に出発致しました。

思っていたより暖かく雨も雪も降らなかったのが、快調に登ることができました。30 分ほどで頂上に到着致しましたが、そこで、亀井さん夫妻が先に来られていて待ってられました。

頂上で 5 人で御来光を待ちましたが、天気予報どおり雲が厚く、残念ながら期待していた御来光を拝むことが出来ませんでした。それでも、一応手を合わせて拝み、今年一年間の山の安全を祈願致しました。そして、7 時 15 分に頂上を出発致しましたが、下山する途中でお天道様が雲の間から顔を出されました。

また、下山後の夕方に雪が降って来てたちまち積もってしまったので、雪が降る時間がずれたのはツイていたと思います。今年は、このように事故がなく無事に山行が出来ることを願っています。来年以降も出来るだけこの初日の出山行にご参加いただいでその年の西大和山の会のすべての山行について安全に登山が出来るように一緒に祈願していただくことをお願い致します。

（都築 周作）



干支の山：今年の干支は乙未(きのとひつじ)

未(羊)のつく山は少なく、北海道の後志羊蹄山(1,898m、日本百名山、別名蝦夷富士)のほか、奥只見の未丈ヶ岳(1,552.9m、新潟県魚沼市)、大峰の櫃ヶ岳(781m、別名羊ヶ岳、五條市と下市町の境界)、丹波の櫃ヶ嶽(582.1m、別名羊ヶ嶽、京都府京丹波町と兵庫県篠山市の府県境)くらい。一方、名前に羊はつかないが、山と羊ということでは、フランスの世界遺産 Mont Saint-Michel (モン・サンニシエル「聖ミカエルの山」の意)と羊は有名。もっともフランスの山屋さんは、アルプスやピレネーしか眼中にありませんが・・・。

自主訓練山行（雪山トレーニング）

台高の山：《高見山》

【日 程】1月3日（土）

【参加者】L 杉川・玉越・今井（3名）

【コースタイム】たかすみ温泉駐車場(7:50)～高見杉(8:47)～杉谷・平野分岐(9:34)～揺岩(10:00)～高見山山頂(10:25/55)～高見杉(11:50)～たかすみ温泉駐車場(12:50)

大雪の為、急遽伊吹山から高見山へ変更の雪山訓練山行。途中、凍結した路面にハラハラドキドキしながら着いた、たかすみ温泉駐車場は20cm程の積雪。車止めも雪に隠れて駐車するにもひと苦勞。駐車場には4,5台の車が有り、中にはチェーンを巻いた車も有った。準備中の3人のパーティがおられた。トレースが有る事に安堵（リーダーはラッセルの覚悟をされていた）し、我々も準備を終え、アイゼン無しで駐車場を出発。



平野川沿いに歩き、たんのうら橋を渡り左へ進み登山道に入る。積雪30,40cm程有るだろうか。杉の植林帯に整備された登山道の丸太の階段も今日は雪に埋もれ段差が少なく有り難い。雪深い景色に感動しながら1時間程で高見杉に到着。トレースが有ると新雪の為、思いのほか歩きやすい。樹氷のトンネルに感嘆の声を上げながら順調に杉谷分岐へと進む。やがて国見岩を過ぎ息子岩、揺岩をすぎた辺りでトレースを外して膝上まで埋まり慌てた。吹き溜まりは、かなりの雪の深さだ。トレースの有り難さが身に染みる。高度を上げると共に徐々に霧氷の密度も濃くなりモンスター化している木々も見られた。稜線に出ると木々の樹氷が風に煽られ頬にあたって痛い。また足元も風で雪が飛ばされ凍てついて滑りそうで怖い。慎重に足を運んで進んでいると山頂の避難小屋が見えホットする。早々に小屋の中へ入ると7,8人の先客。奥に3人分の空席を見つけて食事を摂る事にする。カップラーメンが美味しい。かじかむ手を温め、お腹も満たしてくれる。冬山では最高の食べ物に思える。食事の後、山頂へ。残念ながら霞んで見え無い。かすかに三峰山とおぼしき山容が見えるが自信は無い。高角神社の避雷針には大きなエビの尻尾が出来ていた。高角神社で今年の安全祈願を済ませ、記念撮影を終えて下山開始。



下り始めると次から次へと現れる登山者。登る時とは様子が変わる程、踏み固められた登山道だったがアイゼンを着ける程でも無かった。今日の高見山の登山客は少ないと思っていたのだが我々の出発時間が早かったせいのような。小屋で昼食が摂れ、温泉でもゆっくり出来、充実した雪山訓練山行だった。これもチェーン覚悟で車を出して下さったSリーダーのお蔭と感謝です。

（今井 雅代）

例会山行1

六甲の山：《長峰山》

【日 程】1月4日(日)

【参加者】L 島崎・SL 田中(悦)・田中(初)・林・橋本・的場・船江(7名)

【コストム】JR 王寺駅(8:08)＝阪急六甲駅(9:28/35)～登山口(10:06)～長峰山(11:35)～杣谷峠(12:17/50)～長峰堰堤(14:10)～阪急六甲駅(14:47/59)＝JR 王寺駅(16:18)〔歩数：19,721歩〕



新年最初の山行なので、比較的軽めの山を考えたが、意外にも市街地の急坂を登り、登山口からの登りも案外急、低山と思いなめている分、結構きつい、送電線鉄塔を過ぎ、眼下には六甲アイランドの海を眺め、途中、新雪を踏みながら、幾つかのピークをアップダウンして長峰山(天狗塚)到着、ここは大きな岩場で摩耶山・海が見える三宮方面を展望、ここで昼食タイムと思ったが風が強い為、寒く、早々に下山する。



かなり急斜面を下って行く、休憩するのに適当な場所を探しながら、下って行くと杣谷峠まで下ってしまった、トイレをする場所もあり、小さな東屋もあってここで昼食をとる。

窪地なので風は無いが、手先が冷える。

下りは幅が広い石段を下って行く、沢沿いを下って、途中小さな氷瀑??もあったりて、登りとは対照的な杣谷川に沿ったカスケードバレイ下山ルートである。

天気も回復し、気分よく下って行く、大規模な墓地を対岸に見ながら、下ると長峰堰堤に着いた。

ここからは長峰中学校を過ぎ、眼下に海を見ながら、高級市街地??のかなり急斜面を下って、護国神社を過ぎ、阪急六甲駅に無事到着した。



(島崎 隆)

自主山行

《生駒山 642m～信貴山 437m》

【日 程】1月11日(日) 晴れ後曇り

【参加者】L 藤井・SL 窪田・島崎・田中(悦)・田中(初)・村田・勝尾・多賀・橋本・船江・野路 (11名)

【コースタイム】近鉄王寺駅(8:14)＝生駒駅(8:39)／鳥居前駅(9:00)＝<ケーブル>＝生駒山上駅(9:16/23)～暗峠(10:11)～鳴川峠(10:56)～昼食(11:25/12:30)～鐘の鳴る丘(12:42)～十三峠(13:20)～信貴山(15:23)～信貴山下駅(16:30)～王寺駅(16:50)

生駒山頂までは、超可愛らしいケーブルカーを宝山寺駅で乗り継いでうっすら雪の残る生駒山上へ。山頂は5℃。冬季休園中の生駒山上遊園地を懐かしく眺めながら通り抜け、生駒縦走コースへ。



テレビ局のアンテナや電波塔が林立している横を通る。鉄塔を抜ける風の音が低く唸っている。天候は晴れていたが峠までの道はぬかるみが多く滑りやすい。パノラマ駐車場からの展望は、雲が出て霞んでいたが遠くに二上山が見えた。



暗峠の石畳を抜け、雑木林の舗装路を登る頃にはうっすらと汗ばむ。イノシシ



が掘り返した跡が、鳴川峠までの路にたくさん見られた。

昼食では、振る舞い粕汁にホットワイン・日本酒でほろ酔い気分♪ テンションもあがり会話が楽しい♪♪ いい気分のまま鐘の鳴る丘に辿り着き笑顔で集合写真。日差しがあたるとぽかぽか気持ちいい。

信貴山へ向かう路には断食道場やら宇宙念波研究会やらいかにも怪しげな建物が・・・信貴山駐車場には「とんど焼き」の準備？大きな松明の柱が立っていた。

信貴山下駅までの妙に長くまっすぐな下り坂。後で聞いたら昔のケーブルカー跡の道なのね。なるほどでした。

最後に、十三峠での女性陣のトイレタイムの長さで男性陣の体が冷え切ってしまうほど、お待たせしてしまっ

たこと。ごめんなさーい！



(船江 照代)

自主訓練山行（雪山テント泊トレーニング）

湖西北部の山：《赤坂山》

【日 程】 1月11日（日）～12日（月）

【参加者】 L 藤本・杉川・今井（3名）

【コースタイム】 1日目：マキノ温泉さらさ(11:10)～アイゼン装着地点(12:00)～東屋〔幕営地〕(13:07) / 2日目：東屋(9:25)～引返し地点〔堰堤の手前〕(9:35)～東屋(9:45)～マキノスキー場(10:15)1日目

マキノ温泉さらさの駐車場では登山口から一番遠い場所に誘導された。雪で足場悪い為、近くの倉庫らしき軒下を借りて準備する。

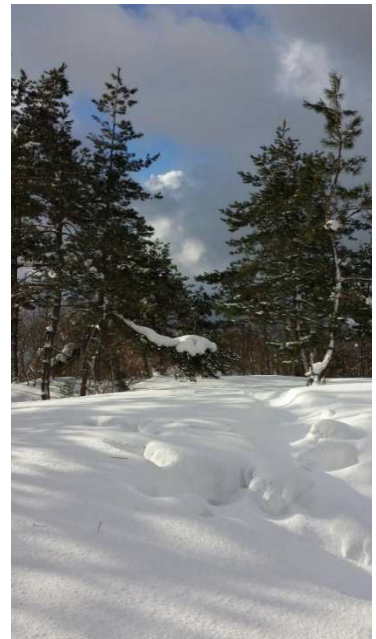
雪のテント泊山行に慣れてはいるが果たして行けるかどうか。

今回、Sさんの好意に甘えて、シュラフはお借りすることにした。冬用の大きなダウンシュラフでザックに入るか懸念されたが何とか収まった。

出発前、CLが用意された天気図を見ながら、今日15時頃から明日に掛けて荒天となり、強風と雷が予想されるとの説明と昼食は行動食との事。駐車場から歩き、マキノスキー場まで来ると沢山のチビっ子の家族連れで賑わっていた。

登山口から、いきなりの急登。トレースはあるが、先頭に行くCLは時々踏み抜き、太腿まで埋まる事しばしば、先行者は殆どシュノーシュー使用のようだ。重いザックと急登に汗が流れる。急坂を過ぎて小休止、アイゼンを着ける。ここで、CLより14時までに東屋まで行けなければ東屋付近でテントを張るとの事、時計を見ると丁度12時、東屋までの時間が読めない。逸る心で先へと進む。左手奥に、ひと際真っ白に輝く山の名前を尋ねると大谷山との事。昨年2月、山頂まで行けなかった記憶が甦る。途中、前方の山々に雲が掛かり始めた。予報通りの天気を心配しながら東屋に到着。東屋は大きなカマクラになっていた。先客数名。程なく雪もちらつき始めた。

CLよりこれから強風、雷が予想される為、東屋横



をテン場とするとの話。

東屋にザックを置き、テン場作り開始。強風に備えてテントの位置を決め、整地してスコップで四角に切り出し、防風壁を L 字型に造る。三人で整地開始。平にと踏むが中々旨く行かない、また踏み固めた雪に、スコップの先を入れるだけでも



大変で、四角に切り出す作業は、かなりの体力がいる。防風壁が出来ると風を考慮して入口を決めテントを張る。この間 S さんはキジ場作り。テントからキジ場への道を着けて完成。三人で 2 時間半程かかった。各々のザックをテントに入れ東屋で夕食を摂る事になる。ティータイム後、水作り。大きなゴミ袋とスコップ片手に綺麗な雪を集め、S さんに教えて頂く。使用分 40 余り作るのに 1 時間程掛かった。

今日は東屋だがテント内だと思うと大変な作業である。夕食の途中から稲光が走り、雷鳴が轟き初めた。食事の途中、防風壁が一部倒れて、修正する場面も有り、防風壁の作り方の大事さも学んだ。また、降りしきる雪の中、稲光に照らし出された青白き雪景色はなんとも言いようのない美しさだった。東屋に居る事で何に対しても余裕があった。ここを幕営地と判断された CL に深く感謝した。

雷が遠のくのを待ってテントへ移動。雪を持ち込まないように、入るにもひと苦労。狭いテントに何とか居場所を確保し酒宴、山談議の間もゴゴゴ風が鳴き、テントに雨音のような音を響かせ雪が降り積もっている。何回かテントを叩き、雪を落とす。雪と風の音の子守歌にいつしか就寝。

2日目



翌朝は一面新雪で覆われ、静寂で美しい風景が広がっていた。

朝食を済ませ、テント撤収。

昨日、苦労して作ったテン場を雪の山に戻し、CL 先頭にトレースの無い道を山頂へ向けて出発。10 分程歩き、登りに入った所で雷鳴が轟きわたる。早々に踵を返し、下山する事になる。

山頂へのトレースは昨夜の雪でかき消され、ラッセルとル

ートファインディングが懸念されて不安を持っていたのでホットする。下山途中は降雪の中、スノーシューで上がって来るパーティ数組とすれ違い 1 時間も掛からず登山口まで降りた。

雪山のテント泊山行を、頼もしい先輩お二人のお蔭で、最高のシチュエーションで体験させて頂けた事に感謝します。

本当にお世話になり有難うございました。

(今井 雅代)

例会山行2

比良の山：《堂満岳》

【日 程】 1月18日（日）晴れ

【参加者】 L 藤井・SL 島崎・多賀・林・辻・藤本・的場・杉川・橋本・今井・亀高・亀井・野路（計13名）

【コースタイム】 JR 比良駅(9:20)～イン谷口(10:10)～大山口(10:55)～青ガレ(11:40)～金糞峠(12:20/50)～堂満岳山頂手前引き返し地点(13:25)～金糞峠(13:45/14:00)～青ガレ(14:25)～大山口(14:55)～イン谷口(15:20)～JR 比良駅(15:55)

この冬は12月の初旬からの寒波に始まり、お正月にもアルプスで遭難騒ぎが相次ぐほどの強風が吹き荒れた。比良山系にもたっぷり雪が降り積もったようで堂満岳、果たしてどこまで行けるか、不安をかかえてのスタートとなった。

車窓から望む北摂の山、比叡山そして比良山系も真っ白に冠雪している。比良駅に下りるとたくさん登山者がいて、天気もいいし心強い。イン谷口までの長い道もサクサクと雪を踏みながら歩くのは楽しい。イン谷口からゆるやかな登りが続き、積雪量も多くなってきたので大山口の手前でアイゼンを装着する。

しっかりトレースが付いているのでとても歩きやすい。途中直登ルートにチャレンジするグループを横目で見ながら我々は正規のルートに登る。また機会があれば挑戦してみたい。



岩がゴロゴロ積み重なった青ガレもすっぽり雪で覆われて急斜面になっていた。雪で歩きやすくなった登山道を登り、コースタイムより早く金糞峠に到達した。

金糞峠は案外風がなく、琵琶湖や雪化粧した対岸の山々が墨絵のようで美しかった。

峠で昼食を済ませ堂満岳を目指して登っていく。積雪量が急に増えトレース以外にうっかり足を踏み入れようものなら深みにはまって身動きがとれなくなる。雪と格闘し〇〇ホールなるものをいくつも作って登っていくが、とうとうトレースがなくなってしまった。もう少しで山頂だというのに・・・登山道も不明瞭だしラッセルをしながらでは時間がかかりすぎてしまうので残念だが引き返すことにした。

下りは早い早い。琵琶湖がどんどん近くなってくる。余裕で予定の電車に乗ることができた。山頂まで行けなかったが穏やかな晴天に恵まれ、たっぷり雪と触れ合えた山行になった。

（藤井 益子）



室内例会だより

【日 時】2014年12月21日(日) 15:00~16:50 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、藤本、村田、田中(悦)、田中(初)、藤井、辻、勝尾、
的場、杉川、橋本、今井、亀高、亀井、船江、都築

1. 山行案内

- | | | | |
|-----------|--------|---------------|---------|
| 1月 1日(木祝) | 初日の出山行 | 王寺の山(明神山) | L 都築 |
| 1月 4日(日) | 例会山行1 | 播磨の山(長峰山) | L 島崎 |
| 1月11日(日) | 自主山行 | 生駒の山(生駒山~信貴山) | L 藤井 |
| 1月18日(日) | 例会山行2 | 比良の山(堂満岳) | L 藤井 |
| 1月25日(日) | 例会山行1 | 紀象アルプス(俎石山) | L 田中(悦) |

2. 山行報告

- 11月23日(日・祝) 例会山行1 紀北の山(龍門山) L 杉村 18名
- 11月28日(金)~29日(土) 県連登山学校訓練山行(ルート・ファインディング) 台高の山《高見山(北尾根)》L 中武(奈良労山)、杉川、今井、他会1名 計4名
- 12月7日(日) 例会山行1 宇陀の山(音羽三山:音羽山・経ヶ塚山・熊ヶ岳) L 田中(悦) 9名
- 12月7日(日) 県連登山学校訓練山行(鵜・かぶたき) 六甲の山(地獄谷~ピラロック) L 中武(奈良労山)、藤本、杉川、今井、計4名
- 12月14日(日) 例会山行2 京都の山(京都トレイル・東山コース) L 杉川 12名

3. 連絡その他

・県連より報告

12月2日の理事会において、理事長、事務局長、会計の主要ポストの選出方法が決定されました。(詳しくは県連ニュース)

女性委員会 山筋ゴーゴー体操基本講習会 2015年2月7日(土) 13:00~
大和郡山市 市民交流会館 (参加者:島崎、藤本、杉川)

1月24日 バードウォッチング 馬見運動公園 近鉄池辺駅9時集合

- ・12月21日忘年会(19名参加) 魚八庭 窪田さんの米寿のお祝いをして楽しい会話で盛り上がりました。

・夏山山行

- | | | |
|-------------------|----|------|
| ① 北アルプス表銀座コース燕岳~槍 | 5票 | L 藤井 |
| ② 白馬岳~唐松岳 | 4票 | L 島崎 |
| ③ ハケ岳 | 3票 | L 亀高 |
| ④ 鳳凰三山 | 3票 | L 藤本 |
| ⑤ 木曾駒 | 3票 | L 藤本 |

※③~⑤は3票と同数のため、欠席した人の意見も聞いたうえで検討する。

・来期新役員について

(会長) 島崎 (副会長) 辻・勝尾 (事務局) 橋本 (会報部) 辻 (HP担当)

・的場(会報担当) (教育) 藤本 (女性部) 今井 (会計) 杉村

以上の方々を新役員として3月の総会に推薦することになりましたので
よろしくお願い致します。

- ・会計処理のため領収書をお持ちの方は2月末までに杉村さんまでお願いします。

(事務局:都築 周作)

運営委員会だより

【日 時】2014年11月30日(日) 14:00~15:30 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、藤本、多賀、村田、都築

案件

1. 夏山山行について

会員にアンケートを取った結果

- ① 北アルプス表銀座コース燕岳～槍 5票
- ② 白馬岳～唐松岳 4票
- ③ 八ヶ岳 3票
- ④ 鳳凰三山 3票
- ⑤ 木曽駒 3票

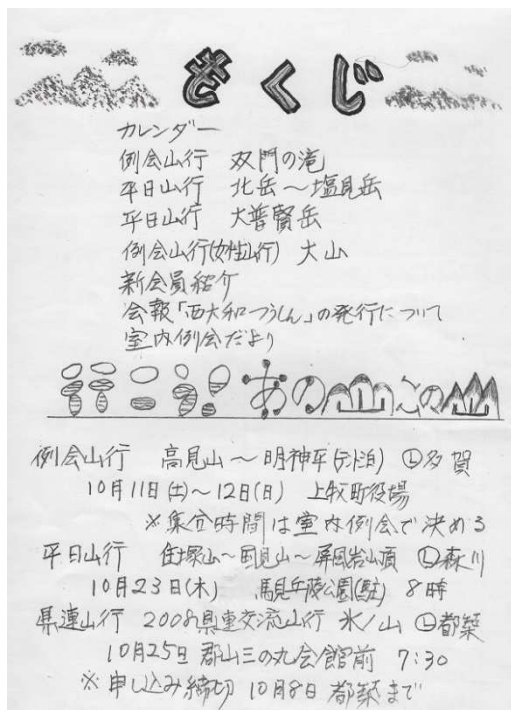
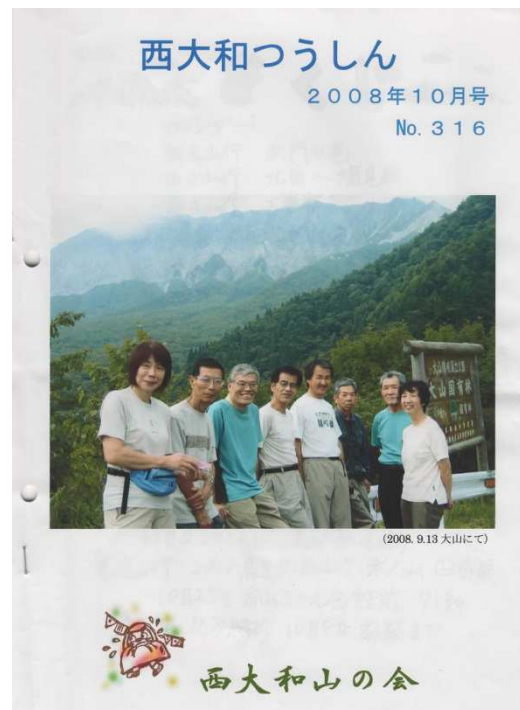
リーダー等については次回室内例会で検討する。

2. 来期運営委員について

室内例会までに立候補者を募集し、立候補者がいない場合は、次回室内例会において運営委員会の案を出して検討する。

(事務局：都築 周作)

おもひでの『西大和つうしん』



私が入会したころの『西大和つうしん』。表紙は窪田氏、目次・カレンダーは森川氏、山行報告は各執筆者、室内例会だよりと裏表紙は三島氏が担当。まだほとんどのページが手書きです。山行報告はそれぞれ2ページが割り当てられ、いずれも長文の力作が並んでいました。なお、目次にある「新会員紹介」とは私のことです。(藤本 武司)

西大和つうしん

第392号(2015年2月号)

2015年1月28日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

<http://www.nishiyamatoyama.org/>